KECKARA SUPPORTERS

けっから サポーター

広島県　としやん

東京都　タマキアキラ

笹川記念保健協力財団有志一同／TANOCHAR／玉木明／盛屋水産／学生復興支援団体Tane／河野敏子／菅野和郭／畠山優／横浜市立大学生活協同組合 総代・学生委員会Warp／他匿名4名

けっからサポーター　5団体（企業）＋8名　合計金額154,765円

以上をKECKARA#1発行のために使わせて頂きました。ご支援ありがとうございました。引き続き、どうぞ宜しくお願い致します。

【KECKARAへの応援を求めています！】

どうやって応援できるの？

応援その1．けっからサポーターになる

カンパ（寄付）でKECKARAをサポートしてください！唐桑内外から広く募集しています。希望する方は唐桑への「応援メッセージ」（左をご覧下さい）を載せることができます。唐桑に想いを伝えたい方におススメです。

応援その2．けっからスポンサーになる

●支援団体・企業の皆様

唐桑への復興応援の広告を載せませんか？

KECKARAは、4000部を唐桑全体に配置する他、外部にも配布しております。地元の人々へ応援がダイレクトに伝わるメディアとして是非KECKARAをご活用ください。ご協力お願いします。

●気仙沼市内の団体・企業の皆様

唐桑の復興情報誌に広告を載せませんか？

地元の復興を盛り上げる雑誌づくりにご協力お願いします。

※ 両者では価格設定が異なります。詳しくはお問い合わせください。

お問い合わせ先

080-1456-4251（加藤）

keckara.edt@gmail.com

感想・応援のお問い合わせ、お待ちしております。

お振込先

『からくわ未来予報誌KECKARAけっから。編集部』

ゆうちょ銀行　店名818　店番818

普通預金3067855

KECKARAをインターネットで読む

http://hiraku-project.net/product.php

Facebookページ

http://www.facebook.com/keckara

KECKARA

けっから。

からくわ未来予報誌

KECKARAけっから。＃1

2012年2月12日

発行所　からくわ未来予報誌
KECKARAけっから。編集部
〒988-0535　気仙沼市唐桑町馬場68

発行人・編集　加藤拓馬

企画協力　FIWC唐桑キャンプ
拓-hiraku-プロジェクト
唐桑ボランティア団
梶原政芳　尾形智洋

編集協力　田辺紀博

校正　馬場康彦

広告協力　畠山哲朗

デザイン　Jay Horinouchi

写真　Jay Horinouchi
矢部志保

印刷・製本　三陸印刷株式会社

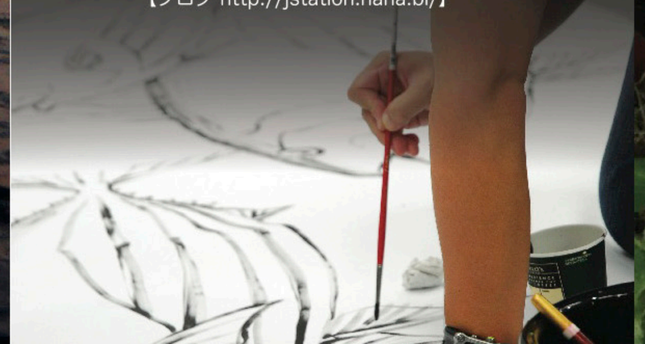
【編集部紹介】

加藤拓馬（かとうたくま）　執筆担当

兵庫県出身の現在22歳です。早大卒業後、2011年4月より唐桑の馬場に住みこんで活動中です。「よそもの」だからできることを模索しながら、唐桑をほっつき歩く毎日。
活動ブログやってます。
【遠東記 http://blog.canpan.info/entoki/】

Jay Horinouchi（ほりのうちジェイ）　デザイン担当

I am 米国カリフォルニア州出身の29歳、本職アーティスト（絵描き）&デザイナー。2010年6月より唐桑で学生ボランティアの引率者として活動中。ただ今アート／デザインを使った唐桑のPR事業を計画中！
【ブログ http://jstation.hana.bi/】



【KECKARAけっから。とは？】

けっから＝（タダで）あげるから。

「前向きになれる話題を提供したい」という思いつきで始まった当雑誌。唐桑の人物を唐桑に発信する復興情報誌です。

「あ、唐桑にこんな人がいたんだ」
目的1．唐桑の再発見　REdiscovery of KARAKUWA
魅力あふれる地元人を知ることで
地元の魅力を再発見してもらいたい

「ねぇねぇKECKARA読んだ？」
目的2．唐桑をつなぐ　Connecting KARAKUWA
その魅力を共有することで
地区や境遇が違う人どうしがつながるキッカケになってほしい

そのためにKECKARAは・・・
夢を語る唐桑人の「拡声器」になります

今日も、馬場のとあるプレハブ小屋で、せっせとわいわい編集中。
これからも、唐桑の未来を予報します。

復興元年正月　編集部責任者

表紙紹介

「家族」「唐桑」「将来」をテーマに、唐桑小学校の生徒2人に自由に描いてもらいました。

（上の絵）
お母さんと折石、そして将来住みたい3階建の家です。
3階はまるごと自分の部屋だとか…

（下の絵）
お母さんと唐桑のリアス式海岸が続く海です。

2人とも、今は仮設住宅から登校しています。

裏表紙紹介

以前唐桑にボランティアとして入った約30人の留学生と描いた「大漁旗」。
（左）下書きのカツオを描くジェイ。